

脱炭素先行地域づくり事業 1億8,225万6,000円

問 事業内容は。

答 九会北部地区や市の公共施設において、エネルギー対策をした住宅や断熱改修の促進だけでなく、太陽光発電設備や蓄電池も導入してエネルギーの地産地消と地域内経済循環を実現します。同時に、脱炭素を契機としたまちづくりを実践することで、空き家対策や定住促進などの地域課題を解消し、住民の暮らしの質の向上を目指します。

問 地域エネルギー会社への出資の理由は。

答 地域で使用する電気料金が市外の電力会社へ流れることなく地域で還流し、太陽光パネルの設置等に市内の関連業者を活用することも含めて、地域で経済循環ができるようなモデルを構築するためです。

自治会役員女性登用助成金 100万円

問 自治会における女性役員の現状と事業内容は。

答 現在、女性が役員を務めるのは6自治会で、まだまだ少ない状況です。この状況を改善し、地域での女性活躍、意思決定の場における女性の登用を推進するために助成を行います。助成の要件は、役員会等に常時出席する方のうち女性を2名以上登用し、女性役員の登用を規約に記載、役員選出は選挙・選考で選ばれることの3つとし、年額10万円を最大3年間助成します。

新病院建設事業総額は約138億円に

質 疑

問 医師の8名減少が病院運営に与える影響は。

答 内科及び外科については、外来は今と同じ体制を維持しますが、救急による手術は限定されます。精神科の常勤医はゼロとなりますが、外来体制は維持します。また、産婦人科は3月から常勤医がゼロとなっており、外来対応の見通しは立っていません。

問 昨年度の基本設計時より新病院建設事業費約40億円増の内訳は。

答 建設資材の高騰で約24億円、安全性環境配慮等で約8億円、数量、仕様等の見直しで7億円、システムの更新等で1億円の増などとなっています。

討 論

賛成

- ・市民の暮らしや福祉、教育を優先したこれまでの施策を新年度予算に継続していくことが重要だ。(本会議)
- ・新たな子育て応援や障がい者支援施策、女性活躍の推進など、市の意欲を感じる予算となっている。(本会議)
- ・加西市は今、望む事業や懸案事業を実施できる状況を与えられている。財政規律は守りながらも、市の発展に必要な施策をこのチャンスに行うべきだ。(本会議)

反対

- ・市長は今期をもって退任を表明しており、新規事業盛りだくさんの予算とするのではなく、まずは「骨格予算」として提案し、新たな市長の下、新規事業を含む補正予算を提案すればよいことだ。(本会議)
- ・市発足以来、過去最大の予算となっているが、既存事業の見直しが十分に行われないうまま、選挙前のばらまきのごとく、「あれもこれも」の予算となっている。(本会議)

議決結果

賛成11、反対3の賛成多数で原案可決



議案第26号 令和5年度加西市病院事業会計予算について

討 論

賛成

- ・地域医療提供体制の確保の点からも公立病院の体制強化が求められており、新病院建設に賛成する。(本会議)
- ・早期に初期治療を受けられる病院が市内にあることは、市の魅力という観点から重要である。(本会議)

反対

- ・想定以上の医師減少が病院の存立を揺るがし、市民が望む病院の姿とは大きくかけ離れている。(本会議)
- ・138億円の建設計画を含め、病院の在り方を再度見直しするのは当然である。(本会議)

議決結果

賛成11、反対3の賛成多数で原案可決